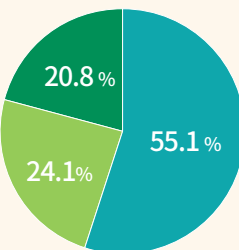


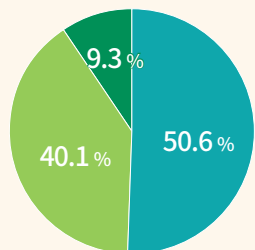


売上高 8,059 百万円	営業利益 49 百万円	経常利益 68 百万円	親会社株主に帰属する四半期純利益 37 百万円
-------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------------------

セグメント別売上高構成比



セグメント別営業利益構成比



医 薬	4,255百万円
保 育	1,862百万円
介 護	1,601百万円

医薬事業の売上高は全体の50%超を占めており、続いて保育事業、介護事業と共に20%程度となっています。

※報告セグメント3事業のみ。その他、調整額を除く。

医 薬	223百万円 (利益率5.2%)
保 育	176百万円 (利益率9.5%)
介 護	40百万円 (利益率2.5%)

堅実に各事業が利益を出している中、特に保育を成長ドライバーとし積極投資を行っています。

医 薬 事 業

コロナ禍による医療機関の外来抑制や処方日数の長期化に伴い、顧客ひとりあたりの来店回数は減少したものの処方箋単価は上昇しました。引き続きサービスの充実による加算の確保を推進しています。

介 護 事 業

新型コロナウイルスへの懸念による利用者の利用自粛が一部あるも、その影響を最小限に抑えました。さらに、事業譲受やホスピス事業の開始など、更なるサービス拡大を行っています。

保 育 事 業

毎年継続的に認可保育園を開園し、東京都、千葉県、神奈川県で現在32園、総勢1,750名の保育園児をお預かりしており、待機児童問題の解消に貢献しながら売上・利益を伸ばしています。

	2020年3月期 (ご参考)	2021年3月期	
	通 期	第 2 四 半 期	通 期 (予 想)
売上高	16,686	8,059	17,173
営業利益	352	49	252
経常利益	337	68	255
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益	435	37	425
総資産	8,848	9,385	—
純資産	2,515	2,554	—
1株当たり 四半期 (当期) 純利益	222.42円	15.12円	173.46円
自己資本比率	28.4%	27.2%	—

※2021年3月期より連結財務諸表を作成しております。2020年3月期はご参考として単体の数値を掲載しております。

配 当 に つ い て

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとしており、成長を確保するため、将来の事業展開と企業体質の強化のための内部留保も考慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、1株当たり10円を実施させていただきます。また、期末配当金につきましては、1株当たり15円を予定しており、これにより年間配当金は、1株当たり合計25円となる見込みであります。

2021年3月期	
1株当たり中間配当金 10円	1株当たり期末配当金 15円(予想)

株 主 メ モ

証券コード	7688	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ	郵便物送付先 および電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-288-324 (フリーダイヤル)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告掲載方法	電子公告により行います。やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月	公告掲載URL	https://www.merhalsa.jp/
基準日	毎年3月31日		
剰余金の配当の基準日	毎年9月30日、3月31日		
1単元の株式数	100株		



本店所在地 〒162-0054 東京都新宿区河田町3番10号
 電話番号 03-3341-2421 (代表)
 お問い合わせ contact-ir@merhalsa.jp



ミアヘルサ レポート

2021年3月期 第2四半期 2020.4.1 ～ 2020.9.30

ミッション

少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする

この度の新型コロナウイルス感染症に関しまして、罹患された方々の一刻も早い回復をお祈り申し上げます。

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社は2020年3月17日東京証券取引所ジャスダック市場に上場いたしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

1966年当時、子ども達に栄養価の高い給食を提供したいという願いにより創業した学校給食の食材卸事業を前身とし、「少子高齢化社会の課題を解決します」というミッションのもと、医薬事業・介護事業・保育事業・食品事業を展開しております。

4事業部を通したシナジー効果を最大限に発揮し、医療・介護・保育・福祉・絆ライフラインを構築することで全ての人が安心して暮らせる持続可能な「まちづくり」を目指しております。

この度のコロナ禍において、改めて多角化経営の重要性を実感いたしました。今年度はM&A・事業継承、ホスピス事業の立ち上げ等、新たな事業展開による成長戦略を掲げ大きく前進する所存です。

今後も、**高齢者と子育て支援という2つの大きな政府方針を実践し、人々の生活を支え貢献する会社**として企業価値を高め成長拡大に向け邁進してまいります。

皆様におかれましては更なるご支援を賜りたくよろしく お願い申し上げます。



代表取締役社長

青木 勇

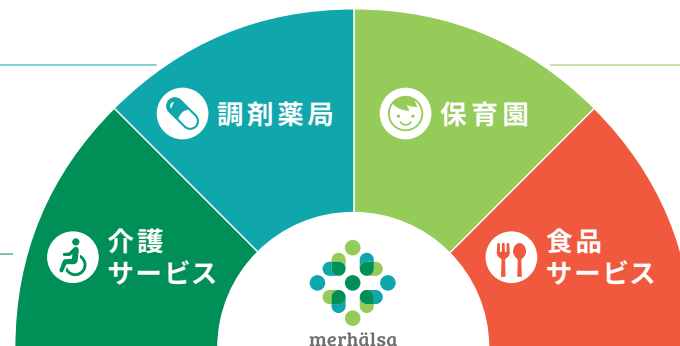
事業内容

医 薬 事 業

「かかりつけ薬局」として地域住民の皆様の健康をトータルでサポートしています。また在宅やオンラインでの服薬指導やHIT (在宅輸液療法) 事業にも力を入れています。

介 護 事 業

住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体で提供し、身体機能の維持向上はもとより、生活機能の向上を目指した「自立支援型・改善型ケア」を推進しています。また、地域の交流を通し、人材育成も行っています。



4つの事業で地域を支える

保 育 事 業

子ども主体の協同的な学びの保育園を目指し、安全だけでなく体力・知力・思いやりを育んだ、より質の高い子育て支援に取り組んでいます。

食 品 事 業

健康な体づくりは食事から。常に時代の変化とニーズに対応し、幼児から高齢者の方々まで各々の年代に合った美味しい食材をご提供しています。

ミアヘルサが実現を目指す「地域包括ケアシステム」

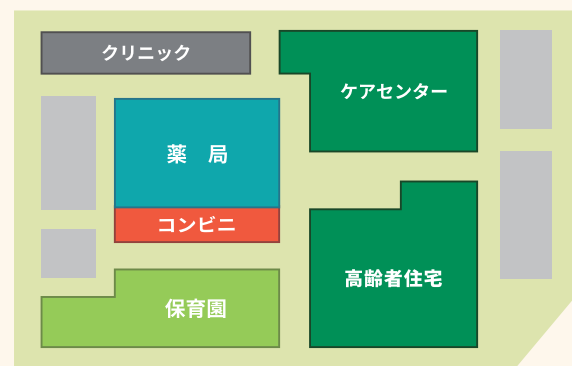
当社は、**医療・介護・保育・食品**事業の専門性を活かし、地域の豊かな暮らしを支援する包括的なケアシステムを提供しています。

政府が提示する地域包括システムのイメージ



政府は少子高齢化社会の方針として、住まいと共に医療・介護・保育・生活支援を地域で包括的にカバーできる環境を提供する仕組み (地域包括ケアシステム) を推奨しています。このことは「これからのまちづくり」として都市開発や団地再生の条件となっております。

当社の今後の展開事例のイメージ



当社はこうしたニーズに応え、行政や大手デベロッパー等と協力して必要な機能を一体的に提供できることを差別化策とし、事業連携によるシナジー効果で高い収益性確保に取り組みます。また、今後も、少子高齢化社会の課題解決に挑戦するとともに、更なる成長を目指します。

トピックス

新規事業所開拓をはじめ、少子高齢化社会の課題である「高齢化対策」と「子育て支援」の政府方針に取り組み、地域の皆様に明るく元気になることを使命としている会社です。



緊急事態宣言時における事業継続方針

医療体制の維持

▷ 医薬品の販売（調剤薬局の運営）

支援が必要な方々の保護の継続

▷ 介護付き住まいの運営（通所・訪問・入居サービスの充実）

社会の安定維持

▷ 育児サービスの提供（保育園の運営 ※自治体の方針に基づき対応）

国民の安定的な生活の確保

▷ 食料品の供給確保（給食食材配送／宅配寿司・コンビニ運営）

具体的な取り組み例

店舗衛生対策

コロナ禍においても地域医療の担い手として薬局の役割を果たすべく、事業継続計画のもと薬局各店では様々な衛生対策を実施しています。従業員のマスク着用徹底や薬局内各所の定期的な消毒はもちろん、窓口へのビニールカーテンやアクリルボードの設置を行うなど、**患者様、スタッフ双方の感染リスクに注意を払いつつ店舗運営を行っています。**

大井町店 感染症専門窓口設置

日生薬局大井町店では、病院からの要請により、流行性の感染症に罹患している可能性のある方を対象とした**専用待合室（クリーンルーム）**を開設しました（9月18日開設）。通常の入り口とは区別された専用入り口から入室し、スタッフとのやり取りも窓越しにすることで薬局内での感染拡大防止に努めています。



オンライン診療・ 服薬指導開始

オンライン服薬指導に関する診療報酬が新設されたことを受けて、9月1日より、**オンライン服薬指導**を開始しました。直接対面での服薬指導が必須ではなくなったことから、患者様の利便性向上、スタッフの業務効率改善が期待されます。今後も、医療分野におけるICT化に積極的に取り組んでまいります。

日生薬局の HIT（在宅輸液療法）事業について

日生薬局／ミアヘルサ薬局では、来る超高齢化社会に備え、在宅医療に取り組んでいます。中でも自宅での病気療養を支えるHIT（在宅輸液療法）に力を入れています。HITは無菌状態での作業が要求される高度な在宅医療ですが、当社は無菌調剤室を都内で2ヶ所設置しております。コロナ禍の中でも止めることなく、患者様の目線に立って様々な協力医療機関と連携を推進してまいります。